

式 辞

新緑が輝き春の香りで満ち溢れる今日の佳き日に、令和4年度敬愛学園高等学校入学式を挙行できますことは私たち教職員一同、大きな喜びであり、心から感謝申し上げます。

ただ今入学を許可いたしました465名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本校の生徒教職員を代表して心から歓迎いたします。

本校は『敬天愛人』を建学の精神として掲げ昭和28年に創立されました。この『敬天愛人』は、本校創立者長戸路政司先生が尊敬されていた明治維新の立役者である西郷隆盛の座右の銘であり、意味するところは「常に謙虚で自己を厳しく律するとともに、広い心で自分と同じように他人をも愛することができる真のやさしさを育む」ことです。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちの日常が一変しました。マスクをして生活することが当たり前になり、町中の至る所で「感染防止対策」という文字を目にします。一方、身近で出来ることを徹底すれば、感染を防ぎ、人の命を救うことができることも学びました。皆さんには、入学後も学校の内外を問わず、感染防止対策の徹底をお願いします。また、この感染症が厄介なところは感染しても症状が軽かったり、無症状のことさえあるので、誰もが知らない内に、周囲の大切な人たちに感染させてしまうリスクがあることです。今こそ、自らの行動を厳しく律するとともに、周囲の人たちへの思いやりを持って行動すること、『敬天愛人』の精神を実践することが求められています。皆さんにはこれから始まる高校生活においても『敬天愛人』を肝に銘じて真のやさしさをもって、友だちを大切にしたいと思います。

次に、これから高校生活を送る皆さんに、私が期待する3つのことを申し上げます。

1つめは、「自ら考え、主体的に行動する」ことです。高校においては、義務教育の中学校までとは異なり、自己責任に裏打ちされた行動が一層求められます。その時その場で、何をすべきで、何をすべきでないか、どうすることが適切なのか、などを自分で考え、判断し主体的に行動する力を身につけてください。皆さんを取り巻く社会はこれまで以上のスピードで変化していくことで

しょう。そのような時代にあっては、主体的に行動することがますます重要になってきます。

2つめは、「出会いを大切にすること」です。

高校生活で勉強に励むことはもちろんですが、勉強することだけでは得られない、大切なものも学んで欲しいと思います。高校は、学区の学校へ通っていた中学校とは異なり、全く見ず知らずの人との出会いから始まります。友だちができるだろうか、と不安に思っている人もいるかもしれませんが、最初は皆同じように思っていますので心配しないでください。これから高校生活を送る中で、出会いを大切に、生涯にわたって助け合い、支え合える友だち、親友をつくってください。また、人生の先輩としても、様々な助言をいただける先生方との絆も深めてください。

3つめは、「高い志をもって、失敗を恐れず挑戦すること」です。今、皆さんは新しく始まる高校生活に期待を抱き、希望に胸を膨らませていることと思います。今、皆さんは可能性に満ち溢れています。中学生の時にはできなかったことが、学びや練習を重ねることで出来るようになります。知識や能力が身につくと、視野が広がり挑戦すべきことが見えてきます。もちろん、失敗もすると思いますが、高校時代の失敗は貴重な経験として、皆さんをさらに成長させる糧となります。失敗することへの過度な不安は、視野を狭くし可能性の扉を開きにくくします。挑戦する前から、自らの限界を決めないでください。

結びになりますが、高校に入学することは、義務教育を終えて、人生の新たなステージに立つことを意味します。この人生の節目を迎えた皆さんの入学式での晴れ姿を最も楽しみにしていらしたのはこれまで皆さんを一番近くで支え見守り続けた保護者ご家族の方々です。今回、誠に残念でしたが、感染拡大防止のため保護者の皆様のご列席を見合わせていただきました。今日、家に帰りましたら、これまでの感謝の気持とともに高校に入学したことを保護者ご家族の方々に報告してください。

それでは、明日から始まる皆さんの本校での高校生活が充実したものとなりますことを心から祈念して式辞といたします。

令和4年4月11日

敬愛学園高等学校 校長 奥山 慎一